

黒崎中央小学校区の連携だより

黒崎保育所・藤田保育園
黒崎幼稚園・黒崎中央小学校

黒崎中央小学校区幼保小連携だより 平成24年12月

トライアングル No.2



黒崎幼稚園
黒崎保育所
藤田保育園
黒崎中央小学校

2学期に行われた幼保小の連携事業も、子どもたち同士や地域の方々など、いろいろな人とかわる楽しさや表現できる喜びを味わいながら、思い出に残る交流会を実施することができました。ありがとうございました。交流の様子を紹介いたします。

さつまいもを収穫しよう 10月23日(火)

6月6日に植えたさつまいもが、大きく育ちました。5か月近く待って、やっと収穫のときがきたのでした。畑では、地域のサポーターの皆さんから掘り方を教えていただき、グループごとに掘りました。「うわあ、おいもが出てきた〜」「大きいよ!」と喜びの声があちこちから聞こえました。

今年度は、いもの苗植えをしたみんなで収穫したおいもを洗って、焼きいもの準備をしました。焼きいもが楽しみだなあ〜。



さつまいも収穫祭をしよう 11月15日(木)

① おいもパーティー

小学校の畑の焼きいも釜でおいもが焼けるまで、2年生の器楽演奏を聴いたり、みんなでじゃんけんゲームや集合ゲームをしたりして楽しく過ごしました。生活発表会を目前にしていた園児たちは、小学生の演奏をあこがれの眼差しで見っていました。ゲームでは、同じグループの友達同士で仲良く踊ったり、助け合ったりしながら楽しく遊びました。



② 焼きいもを食べよう

手作り釜の中で、じっくりと焼けたおいもは、見た目にもとてもおいしそうでした。子どもたちは、口に入れた瞬間「わあ、とろけそう!」「こんなおいしいおいも、初めて!」と歓声を上げながら、ほくほくおいもをおいしそうに頬張っていました。笑顔いっぱいの日でした。



地域のサポーターの方々にご協力いただきながら、みんなで育てたさつまいもは、大きく育ち、本当においしかったですね。グループごとの交流も、お互いの顔と名前を少しずつ覚えてきたようで、だんだん仲良くなってきました。3学期の交流会でまた会えることを楽しみにしています。



連携だよりの担当について

校区で話し合い、保育所・幼稚園・小学校が順番で定期的に発行しています。作成したものは、互いに内容を確認の上、各校、園の保護者や地域の方々に広く配布しています。

取組みの内容を分かりやすく紹介

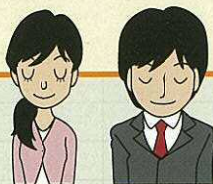
写真や子ども達の声などを掲載し、保幼小連携の意義や活動内容を分かりやすく紹介します。写真の掲載に際しては、個人情報保護の面から保護者に了解を得る必要があります。

紙面の工夫についてアドバイス

あまり文字が多いと見にくいので、交流内容を簡潔なタイトルで表し、興味を引き付けるような写真やカット等を使い、楽しい交流の様子を伝えるとよいです。幼児期の体験が小学校教育へとつながっていることを保護者や地域の方々にも理解してもらえようように記載するとよいです。

情報発信の意義

情報発信の方法として、園だより、学校だよりやホームページ等がありますが、校区が連名で出す通信としての価値があります。保育所や幼稚園は、小学校との交流によって学校の様子を知ることができ、就学への不安を解消できます。小学校は、年下の子ども達との交流により自分の成長を感じたり思いやりの気持ちをもったりすることができます。そういった良い点を知らせて、みんなで子ども達を育てようとする姿勢を発信することが大切です。



プログラム作成にあたり
資料提供やアドバイスをしてくださった先生方、
どうもありがとうございました。

監修 / 北九州市 保幼小連携推進連絡協議会 発行 / 北九州市教育委員会総務部企画課

北九州市小倉北区大手町1-1小倉北区役所庁舎東棟6階 TEL 093-582-2357 FAX 093-581-5871